

成人に多い目の病気

【主催・企画】

岐阜大学大学院

医学系研究科

【後援】

岐阜県・岐阜県教育委員会

岐阜市・岐阜市教育委員会

毎年ご好評をいただいております岐阜大学医学市民講座の今年のテーマは「成人に多い目の病気」です。ヒトはいろいろな感覚を介し外部から情報を得ていますが、全情報の約8割を視覚に依存していると考えられております。従って目は極めて重要な感覚器官です。眼科診療の第一線で活躍中であり本学医学部の講師四名が、「目の構造と機能」について概説し、次に、成人に多い「白内障」、「緑内障」と「糖尿病網膜症」についてわかりやすく解説し、時間の許す限り皆様の疑問・質問にお答えいたします。今回の医学市民講座から「成人に多い目の病気」に対する理解を深めていただけましたら幸いです。多数の皆様の御参加をお待ちいたしております。

日時 平成23年10月2日(日)

会場 岐阜大学医学部記念会館
2階ホール(岐阜市柳戸1番1)

講師・講義案内 裏面参照

受講対象者 一般社会人

定員 150名

受講料 無料


申込方法

①メールでの申込方法

件名に「岐阜大学医学市民講座受講希望」、本文に氏名・電話番号を明記の上、igakubu-23smn@gifu-u.ac.jpへメールを送信下さい。後日、受講申込書(PDF)及びパンフレット(PDF)を返信しますので、受講申込書に必要事項を入力の上再度送信下さい。

②郵送での申込方法

直接下記申込先へ郵送して下さい。受講申込書は、医学系研究科・医学部総務係及び本学の各学部等にあります。また、岐阜大学医学部ホームページ(<http://www.med.gifu-u.ac.jp/>)からも受講申込書をダウンロードできます。なお、受講申込書の入手が困難な場合は、氏名(ふりがな)、性別、現住所、電話番号、過去の受講歴、職業、年齢、修了証書発行希望の有無を記入したものを直接下記へ郵送下さい。なお、郵送される際は、返信用封筒(長型3号・80円切手貼付)を同封願います。

申込期間 8月1日(月)から9月22日(木)

- 申込みに関わる個人情報につきましては、講座実施のための資料として以外は使用いたしません。
- 定員になり次第、締め切らせていただきます。
- テキストは当日配布します。
- 希望者には、後日修了証書をお送りします。申込の際、必ず「修了証書発行希望」欄にチェックを入れて下さい。
- 車でお越しの方は、病院の外来駐車場を御利用願います。

**申込み
問合せ**

〒501-1194 岐阜市柳戸1番1

岐阜大学医学系研究科・医学部 総務係

TEL 058(230)6051(直通)

<電話受付時間>9時から16時まで(土・日・祝日・8/12~15を除く)



成功させよう!



<講師・講義内容>

○13:30～ 開講

○13:35～13:50 **イントロ「目の構造と機能」**

医学部附属病院 眼科

講師 **青山 裕美子**

(あおやま ゆみこ)

○13:50～14:20

白内障

医学系研究科

眼科学分野

准教授 **川瀬 和秀**

(かわせ かずひで)



白内障とは

白内障は水晶体がにごり、物がかすんだりぼけたりするようになる病気です。以前は「白底翳」(しろそこひ)と呼ばれていました。一般的に中年で発症し、年齢を重ねるにつれて進行するものを加齢性白内障といいます。その他、外傷、糖尿病や眼内炎などに合併する続発白内障があります。

症状

霧視(霧がかかったように見える)や羞明(眩しく感じる)から始まり、混濁の進行により高度な視力障害を来します。

治療

一旦発症し、混濁したものは元には戻りません。早期においては進行を遅らせる目的で点眼薬を使用します。近年、手術時間の短縮や術後視力予後の改善により、早期に手術を行う傾向にあります。

○14:20～14:40 休憩

○14:40～15:10

緑内障

医学系研究科
眼科学分野

教授 山本 哲也
(やまもと てつや)



緑内障は岐阜県多治見市で行なわれた疫学調査により、40歳以上の日本人では5.0%の方がかかっている頻度の高い目の病気ということがわかりました。従来は、緑内障というと、「失明する」とか「目が急に痛くなる」といったイメージで語られることが多かったのですが、ずいぶんと概念が変わってきました。

今回の市民講座では、患者様とご家族の方を念頭に、緑内障に関する最新の知識をわかりやすく解説することにより、この眼病を正しく理解していただくことを目指します。多くの緑内障は正しく管理されることで一生に渡り有用な見え方が残る可能性が高いことを示し、そのために患者様がどうすることが必要かがご理解いただけたらと思います。

○15:10～15:40

糖尿病網膜症

医学部附属病院 眼科
臨床講師 末森 晋典
(すえもり しんすけ)



21世紀の幕が開け10年の歳月が過ぎました。我が国では40歳以上の3人に1人は糖尿病患者かその予備軍と言われています。おいしいものを食べたい、楽をしたい……糖尿病は人間の根源的な欲に根差す業の深い病気なのでしょうか？

糖尿病網膜症は糖尿病における慢性合併症であり、放置すると眼が見えなくなっていくます。2005年度の厚生労働省調査によると、糖尿病網膜症は中途失明原因の第2位でした。

本講座では患者さんの目線から考え、糖尿病網膜症の検査方法、病態、その予防と治療について解説したいと思います。

○15:40～16:10 質疑応答・総合討議

○16:10～ 閉講